



都島だより

発行責任者

赤尾 仁史

〒227-0035
横浜市青葉区すみよし台36-24-411
TEL 045-961-8143

一般社団法人浪速工業会
都島クラブ会報

2014年(平成26年)1月 第48号

事務局 馬江 治喜

〒234-0056
横浜市港南区野庭町696-6
TEL045-841-8885

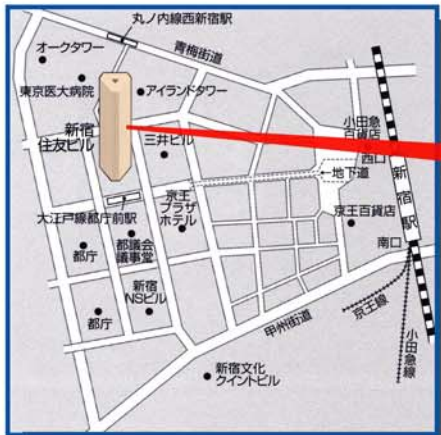
E-mail har1942umae@iris.ocn.ne.jp

題字デザイン A28岡田 宏三

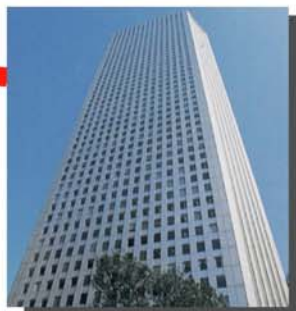
NEWS48号

一般社団法人浪速工業会・都島クラブ 現在会員数 ◆ 合計528名

◆M・機械108、ME・機械電気26名◆A・建築94名◆E・電気・電子工学166名◆C・土木・都市工学47名◆CI・工業化学・理数60名◆L・普通14名◆工専13名



新宿住友ビル47階



東京住友クラブにて開催!!

交通のごあんない

JR[新宿駅西口]より 徒歩8分
東京メトロ丸ノ内線[西新宿駅]より 徒歩3分
都営地下鉄大江戸線[都庁前駅] 直上

平成25年度 総会のご案内

一般社団法人浪速工業会 都島クラブ(関東支部を改名)今年度の総会を左記の通り開催いたします。ご多忙中のこととご察し致しますが、万障お繰り合わせの上ぜひご出席ください。

●日時 平成26年4月26日(土) 13時~15時30分

●場所 東京住友クラブ

新宿区西新宿2-6-1 新宿住友ビル47階

TEL:03-3344-6285

●親睦会費 7,000円(女性会員は4,000円)

●平成年度卒業会員は無料!

※同封の返信はがきに出欠をご記入の上、3月30日までに必ず投函して下さい。

一般社団法人浪速工業会・都島クラブ総会

2014年4月26日(土)
13:00 開会

特別講演会「テレビよもやま話」

A27 清井 英治氏

同期・先輩・後輩お誘いあわせの上 多数ご参加ください

昨年度の総会ご出席者

来賓	山崎 充理事長 田 孝一 学校長			
機械科	M26上田英雄	M28畑 明	M34石川芳夫	M34大田清三
機械電気科	M34西田喜一郎	M36西村 功	M38猪川 隼	M39馬場 宏
9名	M42前田範行			
建築科	A28酒井 保	A29近江巳記夫	A37森 芳信	A44森本良平
8名	A47西口勝臣	A48田淵成明	A48鍋島早苗	A57信原利行
電気科	E20真鍋静夫	E28有井 章	E29岩崎亮平	E29小林孝栄
13名	E29川村栄男	E35田中 浩	E35芳仲 宏	E36赤尾仁史
	E36石垣英明	E36馬江治喜	E36笹田博司	E36竹村繁幸
	E48紙谷広幸			
土木科	C20榎本嘉信	C33明見和彦		
2名				
工業化学科	CI34柴田孝次	CI36藤田久則	CI37五十嵐三喜雄	
5名	CI38岩井 誠	CI40菅家亘通		

参加者37名+来賓2名 合計39名



昨年度の総会集合写真

恩師 長尾先生と勝馬会

A29 森 正信

●市電都島車庫停留所

ある日の下校時、都島車庫停留所に向かう長尾先生と愛娘恵子さん（A31年卒）の親子連れに陰口をたたくのに三歩下がって恩師の影踏まずと歩む都工生の姿が目につきます。梅田・天六などへは学校の前の都島本通り停留所よりも都島車庫が下車する車両が多いのでこの風景が普通だった様です。

●八ちゃんの横顔

あだ名の名付け親は誰なのか分かりませんが眉毛の特徴から聞きおよんでいます。建築科は教諭にあだ名をつけるのが伝統的でイワシ・一銭・花王石鹸・チユウ公等々の中、長尾先生は「ハチ・八ちゃん」の愛称で親しまれ愛され建築科科長としては神様の様な存在でしたが、先生の授業は大変ユニークなもので「眠れない時、精神統一する時は1・2・3・・・と10で折り返す・・・」これを実践して授業中に居眠りをしてしまった者もいたとか。「水面から首を出している杭は水面部分の首が腐食する。首はどこよりも全動脈が集まっている関所の様な重要なところ・・・」。また「筋かいなどの斜め材を柱などに繋結するボルトは内股の部分に・・・誰にも股には大事なものがあゝ急所・・・」これなど一度聞けば絶対忘れませんがはたして恵子さんのクラスではどのように話されたかは取材漏れで分かりません。

「台風の右側は左側より風が強いし他力本願なので自分では動けない・・・」と遠まわりの話の中に、本論と論しがありこれを理解しながら真剣に耳を傾けて区別をしながらのノートを録るのが楽しくもあり苦勞する時間でした。漫談話ばかりではなく本論も大変分かりやすくいつまでも記憶に残る話術をお持ちでした。これらの余談まがい、ほんの一



例ですが魅力と興味そして強く印象に残る充実した教科でした。一方、多くの卒業生を有名企業に送り出されていたのは都工生のネームバリューと実力もありますが先生の内外への偉大な影響力は計り知れないものがあり、雲上の存在で下界人には想像できないものでした。進学希望をした時には「都島で勉学すれば進学する必要はない。ここで鍛えられてこそ本当の実力が身につく・・・」と説得されてきました。これを受けて板蒲鉾の様に製図板にへばりつき、好きな製図に没頭していたある休日に呼び出しがあり温泉旅館の図面の特訓となりましたが、後日分かったのは先生のサイドワークの手伝いでした。製図の未熟さで親の呼び出しもあるかと友人たちと不安の中、懸命な努力で三朝温泉旅館の設計図は自信のある出来栄となり商品価値も上がったとの言葉もあり、これで無事恩返しのできた満足感があり、平素味わえない師弟の人間関係が生まれる場でもありました。先生には

幾つか著作が有り、中でも「建築の新透視図法」「日本建築上・下巻」(写真1)は他に類を見ない抜群の傑作は有名で、座右の銘として長年にわたりお世話になった建築関係者も多い著書です。

●うま・午・馬の勝馬会

清水建設大阪に発想豊かな持ち主、岡田茂氏（S22卒・故人）の発案で「学生時代に先生と法隆寺夢殿の小屋裏に上り調査研究をしたが、今一度先生の講義を授受したいが・・・」と都島出身者のグループ（現在は清都会の名称での親睦会）に持ちかけられたのが「勝馬会」の発祥となりました。会社幹部からは競馬愛好会を無断で作るのは・・・



写真1・著書



との注意もあつたくらいインパクトの強いユニークな名称でした。気品豊かな奥様同伴で貸し切りバスでの研修旅行が始まったのが昭和32年で15年続いたロングランの校外授業でした。毎年7月第一日曜日の開催で、愛称の八で8月でなく7月だったのかは謎です。



写真2・法隆寺にて現地講義



写真3・法隆寺記念撮影

第1回は正岡子規の柿食えば鐘が鳴るなり法隆寺となり、初回なので20数名の参加者でしたが、日くつきの八角堂（夢殿）のある斑鳩の里・法隆寺に向かい、卒業間もない愛娘恵子さんも参加されました。(写真2、3、4)

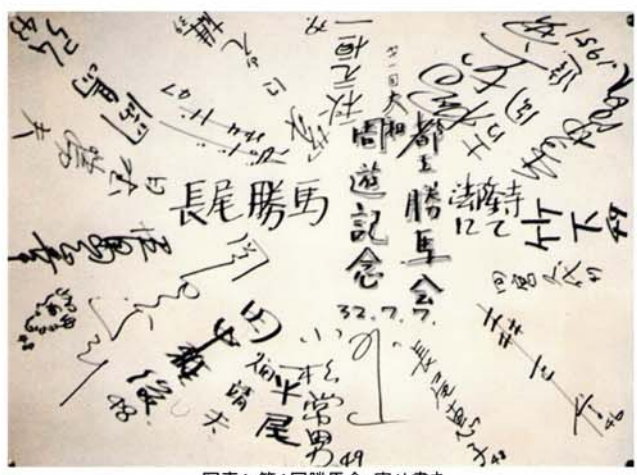


写真4・第1回勝馬会・寄せ書き

第2回は山城周辺そして南禅寺・二条城等々回を重ねることに受講者も増え、雰囲気上々の研修旅行となつてゆきました。第5回親心寺・金剛寺(写真5)の年に前述の名著作「日本建築」が出版されています。木工担当の友永先生の参加もありました。バスも満



写真5・金剛寺記念撮影

車の盛況でトイレ休憩で置き忘れられた人もあつたとか。以降15回までの詳細は省略しますが、先生の揮毫で表紙を飾る会誌も発行されました。(写真6)。



写真6・15周年記念の会誌

●おわりに

親の勧めで入学した所での素晴らしい先生方、並びに多くの親友たちはこの上ない宝物です。「なんでも鑑定団」に出しても天井知らずの価値となるでしょう。今年午年で馬の三拍子揃い。先生とお別れして早33年との事、多くの優秀な人材を世に送り出され魅力と功績の溢れた都島の誇りとなる建築士者、長尾勝馬先生の想い出に敬意と感謝並びに勝馬会生みの親である岡田茂先輩とそれに協力して頂いた多くの諸氏への御礼で筆を置きます。



富岡製糸場と高崎白衣観音への一泊懇親会

M 36 西村 功



10月28日(土)29日(日)に高崎市近郊の富岡製糸場を見学、観音山中腹にある古い歴史を持つ宿で懇親会を実施し、翌日は高崎市が一望できる観音山にそびえる白衣観音と洞窟観音を見学してきました。今回は総勢6名の参加で少々さびしい催しでしたが、歴史探訪と和やかな懇親の場を持つことができ有意義な一泊懇親会を開催することができました。

富岡製糸場は明治維新後の日本の工業化の先駆けとして政府がフランスから建設指導者を招へいし、養蚕が盛んで、製糸に必要とする水と石炭が潤沢なこの地に世界最大級の製糸工場を作り、その後115年間に亘り官営工場から民間企業に払い下げられた後も操業が続けられ、操業停止後も建造物は保存管理されて操業当初のまま残されています。

見学はガイドさんの案内ツアーで繭倉庫と操糸場を主体にし、主な建物はフランス人の設計による木骨煉瓦作りで珍しい構造ですが、関東大震災、第2次世界大戦を無傷で過ごし建設当時のままで残存しています。この製糸場は近隣の絹産業遺産群とともに来年の世界遺産登録をめざしておりま

す。当夜の宿は観音山の中腹にある観音山温泉錦山荘です。温泉から見る高崎市内の夜

景は絶景です。昔の文人等も利用したとのことですが、建て増しによって建物が複雑になり、迷子になりそうな古い旅館ですが、部屋が広々として心おきなく秋の夜長を懇談で楽しみました。

翌日は高崎観音山にそびえる白衣観音の見物です。白衣観音は昭和11年に建設された高さ42mの観音さまで下から見る像はお母さんのようになんともやさしい顔、姿をしていますが性別は無いそうです。ここから歩いて少々ところに400mの浅間山の溶岩で建設された隧道の中に36体の観音像が安置された洞窟観音に入り、何とも神秘的な気分になって高崎駅で解散しました。参加者はA27清井英治、E36笹治博司、E36細川俊、E36馬江治喜、C140菅家且通、M36西村功の6名でした。



観音山温泉錦山荘にて



富岡製糸場にて

古民家の見学と生田緑地散策に参加して

A 44 水守 恵子



今年の見学会は10月12日土曜日、私の地元川崎市向ヶ丘遊園駅近くにある川崎市立日本民家園でした。そこは江戸時代の古民家を全国より移築復元した野外博物館です。全部で20棟ある古民家の数々。かつて母校にて木造建築の授業で講習を受けた屋根の葺き方や壁の構造等改めて日本建築の素晴

2013陶芸会開催報告

A 57 信原 利行

9月28日(土) 毎年恒例の青覚会主催陶芸会をA46柚木寿雄氏のくにたち自遊工房で開催しました。建築科のみならず他科からもM36西村氏ご夫妻、MEH16岡崎氏の参加を頂き計7名にて行いました。毎回の事ながら全員制作に没頭し、あつと言う間に時間が過ぎます。

陶芸会終了後は国立駅前で恒例の懇親会を行い、柚木氏と工房のスタッフの方も参加されて親睦を深めることが出来ました。この陶芸会は2000年に第1回を開催してから14回目の開催となりました。次回は15回開催を記念して特別なイベントにしようと柚木氏とも相談しました。詳細は当誌4面の「陶芸会と夜桜見物へのお誘い」をご覧ください。



成形終了時の作品



焼成後の完成した作品

日本民家園



くにたち自遊工房にて



JAL羽田整備場の見学会

M 36 西村 功



2013.9.11 JAL整備工場見学会

9月11日に12名参加のもとJAL羽田整備場の工場見学会を実施しました。この整備場は東京モノレール新整備場駅の至近にあり、JALが国内に持つ2つの整備場の内の一つで、もう一つは成田空港内にあります。

本見学会は一般の応募者の方と一緒に合計100名程、その2/3はPTAのお母さんの集まりで、応募するのに苦労するほど人気のある見学会であります。整備場の見学の前、館内にある展示場の自由見学があり、皇室が利用された座席、実物のコックピット、歴代の客室乗務員の制服等の展示も興味深いものであります。また講習室では、ボーイング工場での旅客機のできるまでのビデオやガイドさんによる飛行機にまつわる話がありました。

そしていよいよ整備場の見学です。間口170mの広々とした整備場内にボーイング777が分解検査中であり、一方190mの更に大きな場内ではボーイング767と737の両機が整備点検中であるという



空港でも近くで見ることのできない大きな機体を前に、着陸時の尻餅防止用の検出器等ガイドの方から細かく機体に付いている部品の説明を受け、普段何気なしに利用している旅客機についてちょっと物知りになった気分を味わいました。全体で1時間半の短い時間でありましたが内容の濃い見学会でありました。

見学会後は例によって懇親会ですが、時刻が早いにも関わらず浜松町駅下で手頃な店を見つけ、大先輩の戦時中の中国での思い出など秀逸な話を聞く機会に恵まれました。

参加者(敬称略) M14松原滋、A28酒井保、E29岩崎恭平、M34石川芳夫、E36竹村繁幸、E36赤尾仁史、E36笹治博司、E36石垣英明、A37森芳信、C140菅家且通、A57信原利行、M36西村功 以上12名



会の名称変更について

事務局より

昨年、浪速工業会が大阪府の一般社団法人の認可を受けたことに伴い、関東支部の名称を使用することが出来なくなりました。会の構成、運営はこれまでと変更はございませんが、名称については幹事会で協議した結果一般社団法人浪速工業会・都島クラブとすることに致しました。何卒ご理解、ご了承いただきます様よろしくお願い致します。

秋のゴルフコンペの報告

E 36 竹村 繁幸



諸事情により12月開催となったため参加者が7名となりましたが、今迄業務の都合で参加できなかった小林さん(E29)が十数年ぶりに参加していただきました。好天に恵まれ、紫CCあやめコースで高速グリーンに皆さん手こずりながらも楽しくラウンドしました。優勝は太田さん(M34)がGR102(HC24)・NET78で実力発揮されBGとも獲得されました。おめでとうございます。

写真は左より菅家(CI40)、太田(M34)、田中(E35)、岩崎(E29)、藤田(CI39)、小林(E29)、竹村(E36)です。尚、参加者の平均年齢が上がるばかりなのでフレッシュな参加者を期待しています。次回は4月下旬に泉CCを予定しています。

2013.12.5 GOLF



秋のゴルフコンペ・紫CCあやめコースにて

第15回 陶芸会と夜桜見物へのお誘い

A 37 森 芳信

恒例の関東青覚会主催『陶芸会』が第15回の開催を迎えます。その15回目を記念した特別イベントとして左記の通り企画しました。陶芸会は例年通り陶芸家A46卒 柚木寿雄氏の工房にて行い、終了後は国立近辺で夜桜を見ながらの懇親会を開催します。他科の皆さん及び同伴者の参加も大歓迎です。陶芸が初めてという方も奮ってご参加下さい。

『陶芸会』と夜桜懇親会

開催日時 4月5日(土) 13時より17時30分

終了後、国立周辺にて夜桜懇親会を開催します。

開催場所 国立市『くにたち自遊工房』

会費 7,000円(夜桜懇親会費含む)

申込締切 3月15日(土)

申込方法 卒科・年・氏名をFAX

又はEメールにてA37森 芳信まで

FAX 04-7184-8443

Eメール 3tree-yoshi@com.home.ne.jp

(集合場所等詳細はお申込み受付後、案内します)



夜桜(イメージ)

訃報

E12年卒 三好 正文氏 平成23年8月
CI39年卒 加藤 義明氏 平成25年5月
謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

次号のMニュースは平成26年7月発行予定です。

皆様の原稿をお待ちしています!事務局までお送りください。

事務局メールアドレス

har1942umae@iris.ocn.ne.jp

一般社団法人浪速工業会・都島クラブ事務局・馬江 治善

Mニュース48号一部訂正の件

同封のMニュース48号・4面上段より2段目の "会の名称変更について" で終行より3列前の

(社)浪速工業会・都島クラブ ⇒ 一般社団法人・浪速工業会・都島クラブ

に訂正のほどお願い申し上げます。

従って1面に記載しています、4ヶ所を上記のように一般社団法人・浪速工業会・都島クラブと訂正のほどよろしくお願い申し上げます。

以上

事務局・馬江 治喜記